

令和7年度第2回印西市総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年9月22日（月）午前10時00分～午前11時30分
- 2 開催場所 印西市役所 別館1階 農業委員会会議室
- 3 出席者 吉村彰 会長、篠田道雄 委員、坂巻栄一 委員、野々村浩明 委員、
武田好子 委員、齋藤雅 委員、片倉恵美子 委員、渡辺敏雄 委員、
青木和浩 委員、烏田育英 委員、岸本誠 委員、石澤美代子 委員、
菰岡翼 委員
- 4 欠席者 宮之脇賢 委員、田渕雄也 委員
- 5 事務局 企画政策課：武藤課長、大浦係長、阿部(匡)主査、
阿部(良)主査補
- 6 傍聴者 1名
- 7 議 事 （1）印西市第2次基本計画の骨子案と今後の予定について
- 8 会議録 要点筆記（議事については要点を筆記しています。）

【議 事】

- 会 長 ： 議事（1）について事務局より説明をお願いします。
- 事 務 局 ： 資料に基づき説明
- 会 長 ： 事務局から説明がありました。ご意見等ありましたら挙手をお願いいたします。
- 委 員 ： 今回、施策数が第1次基本計画の30から18に集約されることで行政の縦割りが減り、分野横断的な連携が進むことを期待しています。
その上で1点質問です。他の自治体との差別化を図り「選ばれるまち」になるためには総合計画の分かりやすさが重要です。政策1から5の体系は注目すべきですが、一見どの自治体でも言えそうな内容に感じられます。そこで各政策にキャッチフレーズを付けてはいかがでしょうか。例えば流山市のように、政策ごとに分かりやすいキャッチコピーがあればより多くの市民に届き、心に響くものになるのではないかという提案です。
- 事 務 局 ： ご意見として承ります。経営戦略の中で、地方創生総合戦略を包含する形でキャッチフレーズを検討しています。政策ごとに付けるというご提案も念頭に置きつつ、情報量が多くなりすぎて伝わりにくくなる可能性も考慮し、検討させていただきます。
- 会 長 ： 資料1、12ページの体系整理について、第1次基本計画の30施策が今回18施策に絞られているのは理解できますが、それ以外の施策が切り捨

てられたような印象を受けます。「この施策は達成したため今回は含めない」「この分野は順調なため、別の分野を強調する」といった補足説明が必要ではないでしょうか。

また、今回 18 に絞った中で市長が最も強調されている部分を教えていただけますか。

事務局：1 点目のご指摘ですが、決して他の施策を切り捨てたわけではありません。既存の実施計画事業や市長公約なども含め、課をまたいで横断的に関連する事業をグルーピングした結果ですので、切り捨てではない点を丁寧に説明いたします。

次に市長マニフェストは 135 項目と多岐にわたるため、特定項目を挙げるのは難しいです。だからこそ、経営戦略の中で目指すべき方向性を分かりやすく示し、事業展開していきます。「子育て・教育」「一極集中から多極循環」といったキーワードはありますが、大きな方向性は経営戦略の中でお示ししたいと考えております。

委員：市長の 100 を超える公約を、全てを実現するのは困難だと思います。例えば、水田テラスのように実現が難しいと思われる公約もあり、市民は過大な公約に惑わされている面があるのではないのでしょうか。

経営戦略は、市の幹部職員が参加する経営会議と連動しているものと理解しています。藤代市長就任から 1 年が経ちますが、市民が実感できる成果は現時点では上がっていないと感じています。実現した公約は副市長の 2 人体制くらいではないのでしょうか。市民が、市長交代による身近な変化を実感できなければ、計画も「絵に描いた餅」になってしまいます。

計画書は立派ですが、今進められている職員改革こそが重要です。これも市長公約を含めた戦略の一環だと思いますが、4 人いた部署を 2 人に減らし人員を再配置するなどの組織改革を進めているようですが、事実でしょうか。

事務局：経営会議には市長、副市長、教育長、各部長、行政委員会の長などが参加しております。人材戦略については現在進めていますが策定途上であり、段階的に進捗を報告させていただいております。

委員：市長は様々な構想を描いていると思いますが、どれだけ立派な公約を掲げても実際に動くのは職員なので、市長は職員の意識を改革しようとしているのでしょうか。しかし、職員の能力は様々であり、上から目線のトップダウンの改革ではうまくいきません。市長は行政の長であると同時に会社の社長のような存在です。いかに職員の良いところを引き出して能力を発揮させるかが、これからの戦略において重要です。役職者を動かすだけでなく、一人一人の個性を見て判断しなければなりません。人事異動では適材適所が重要です。市長自身が全職員を把握するのは難

しいでしょうから、総務部長や人事課長が職員の長所短所を把握した上で人事を考えなければ、組織はうまく機能しないと思います。部下の良いところを引き出すのが為政者の手腕だと思います。

事務局：100 を超える市長マニフェストを受け、職員は従来の仕事のやり方を変えなければならないと理解しつつも、具体的な進め方については模索している部分があります。そうした意識改革も含めた人事戦略を策定中ですが、これも策定自体が目的ではなく、実のあるものにしなければなりません。すべては市民の皆様が住みやすさを実感できることにつながるべきだと考えております。委員ご指摘の点を特に重視しながら、市民の役に立つ市役所となれるよう組織改革を進めてまいります。

委員：資料1、12 ページの施策体系の整理について、縦割りからの脱却に非常に期待しています。施策数が30 から18 に集約され、一つ一つの括りが大きくなりましたが、各施策の関連性を、例えばイラストなどで視覚的に示すとより理解しやすくなると思います。

事務局：施策の相関図のイラスト化について参考にさせていただきます。今後、素案で具体的な取組事項を記載した際に改めてご意見をいただければと思います。

委員：副市長が2人体制になり、職員との連携はいかがですか。

事務局：役割分担として、先に就任した染谷副市長に加え、令和7年4月から新たに野崎副市長が就任しました。野崎副市長は「攻めの副市長」の位置づけで、新しい取組について市長と職員の間に入り、具体的な進め方を綿密に打ち合わせしています。市長指示で不明点があれば野崎副市長を通して確認することで、職員がやるべきことがより明確になり、関係も非常に良好だと認識しています。

委員：資料3の第2次基本計画について、施策2-3「いつでも安心なまち」の中に「シニア世代の生きがいづくりと社会参加の促進」という項目があります。印旛地区も人口が減る一方で高齢化が進み、独居の方が増えています。シニア世代でも社会参加や就労を望む方がいますが、交通手段がなければ外に出られません。

施策4-1「地域の魅力を引き出すまちづくりと交通の充実」の中に「まちの魅力を結ぶ公共ネットワークの充実」とありますが、バスがあっても行きたい場所への路線がないこともあります。印西市全体を網羅する公共交通ネットワークがあれば良いと感じます。体が元気でも、車の運転ができなくなると公共交通を利用することになりますが、公共交通が不便だと活動意欲も失われてしまうかもしれません。

事務局：交通問題は、市民満足度・重要度調査で「重要だが満足度が低い」との結果が出るため、引き続き最重要課題の一つと認識しております。いただいたご意見を踏まえて施策を作成し、計画に落とし込んでいきたいと

考えております。

委員：事務局説明の中で「市独自のまちづくり」「印西の強み」という言葉が何度か使われ、心地よく響きました。ただ、具体的に「市独自」とはどのようなことか、「印西の強み」とは何か知りたいのですが。

事務局：「強み」については、経営戦略の中に盛り込む予定です。従来から言われている「都市と自然の調和」だけでは近隣市町村と大差ありません。印西市ならではの強みだと明確に分かるよう、計画を策定してまいります。

委員：「雇用創出」はどのように進めるお考えでしょうか。印西市はスーパーなどの大規模小売店や物流センターが多いわけですが、行政として雇用創出の余地はこれ以上あるのでしょうか。住宅事業は市街化区域に集中しており、残っているのは調整区域の活用のみです。しかし民間企業が事業を行うには土地の価格が高すぎます。

千葉ニュータウン事業には縮小や遅れもありましたが、不幸中の幸いで印西市は住みやすい街になりました。人口の割に商業施設が多く、市民にとっては大変助かっています。一方、既存の商店街は太刀打ちできません。ニュータウン地区と既存地区間で格差が生まれています。インフラ整備もニュータウンが中心に進められるため、格差はますます広がる一方です。

既存地区の住民は「市長が代わっても何も変わらないのではないかと」感じています。立派な理想を語るだけでなく、上から目線ではなく、地域住民の目線に合わせた政策をお願いします。

会長：外部から見ると印西市の財政は千葉県内でも豊かであり、心配はないように思います。その財源をいかにうまく活用するかが、こうした政策に関わってくるのでしょうか。交通インフラの整備も是非進めていただければと思います。

委員：千葉竜ヶ崎線バイパスについて用地買収が進まず停滞していましたが、進捗はありましたか。

事務局：南北の渋滞慢性化は事実であり、千葉竜ヶ崎線バイパスの早期完成を期待しています。進捗に関しては共有地問題で解決の見通しが立ったと推測しています。

委員：資料1、26ページの今後のスケジュールでは、10月から12月に素案を作成・審議し、年明けにパブリックコメントを控えており、スケジュールに余裕がないと感じます。

素案作成では「印西市だからこうする」という具体的な内容を盛り込んでいただきたいと強く思います。どの市町村も同じような課題を抱えていますが、その中で「印西市はこう解決する」という独自の答えを示していただきたいと思います。公言すれば実行する責任が生じ、大変だとは思

ますが、それが市としてやるべきことだと思いますので、ぜひ計画に書き込んで進めてくださるようお願いします。

事務局：承知いたしました。現在、各課と第2次基本計画原案の調整を行っており、10月中旬までには一旦作業を終える予定です。その中で、市の名前を入れ替えればどこでも通用するような計画ではなく、「印西市の」総合計画として作り込んでまいります。

会長：議会に提出される前に、総合計画審議会に素案が提示されるという理解でよろしいですか。

事務局：まず総合計画審議会で第2次基本計画の素案を審議いただき、その後庁内の総合計画策定本部会議で決定し、議員の皆様にご説明する順番になります。

会長：他に質問はございませんでしょうか。なければ、議事（1）は以上といたします。本日の議事はすべて終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局：これですべての議事が終了しました。以上をもちまして、令和7年度第2回印西市総合計画審議会を終了します。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

- 1 令和7年度第2回印西市総合計画審議会次第
- 2 資料1 印西市第2次基本計画～骨子案と今後の予定～
- 3 資料2 印西市第2次基本計画 計画の構成（案）
- 4 資料3 印西市第2次基本計画 計画の施策体系（案）

令和7年度第2回印西市総合計画審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和7年10月11日

委員：石澤 美代子

委員：菰岡 翼